

FIT-Choice 尺度と教職志望度との関連について

吉崎聡子 (弘前大学)

キーワード: FIT-Choice 尺度, 大学生, 教職希望

目 的

本研究は、大学生の教職志望動機把握のために国際的に使用されている FIT-Choice 尺度 (富田, 2018) について、大学生の教職希望度との関連を検討することを目的とする。

方 法

質問紙 FIT-Choice 尺度日本語版 (Richardson & Watt, 2006; 富田, 2016) を 7 件法にて使用。B 尺度 (教職選択に影響する要因), C 尺度 (教授に関する信念), D 尺度 (意思決定) の 3 尺度からなる。質問内容がわかりにくかったため、富田 (2016) の項目と文末表現を一部変更した。また教職希望度・教職非希望度をそれぞれ 6 件法にて尋ねた。**実施時期・回答者** 2019 年 1 月に実施し、東北地方国立大学教員養成系学部 1 年次学生 163 名が回答した。

結果と考察

FIT-Choice 尺度は、因子構造の確認のため 富田・三和 (2018) と同様に B 尺度より Fallback Career 因子・Job Transferability 因子を削除し確認的因子分析を行った。B 尺度の適合度指標は CFI=.842, RMSEA=.078 であった。また C 尺度の適合度指標は CFI=.914, RMSEA=.069 であった。この結果は富田 (2018)) と大きく異なる値ではないことから、本研究においても想定された因子を採用する。

今後の分析では FIT-Choice 尺度の下位因子を構

成する項目の和を項目数で除したものを下位因子得点として使用する。各下位因子の α 係数を Table1 に示した。

対象者の教職希望度と教職非希望度を基にクラスター分析 (Ward 法) により群わけを行った。その結果 A 群 (教職希望・教職非希望が同程度) 62 名, B 群 (教職希望 > 教職非希望) 59 名, C 群 (教職希望 < 教職非希望) 42 名となった。この 3 群について、FIT-Choice 尺度下位因子と教職希望度・教職非希望度との相関を求めた (Table1)。B 群では D 尺度以外に有意な相関係数は見られなかった。A 群・C 群では教師としての資質能力、興味、大学入学までの経験などと教職希望の間に正の相関が見られた。教職希望に迷いのある群ほど内的要因が関連していると考えられた。またいずれの群も教職志望について熟考するほど教職希望度が高いと考えられる。

引用文献

- Richardson, P.W. & Watt, H.M.G. (2006) Who Chooses Teaching and Why? *Asia-Pacific Journal of Teacher Education*, 34 (1), 27-56.
 富田英司 (2016) FIT-Choice 尺度日本語訳の試み, 日教心 58 回総会発表論文集, 324.
 富田英司・三和秀平 (2018) 教職志望動機を測定する FIT-Choice 尺度の結果は大学間で比較できるか, 日教心第 60 回総会発表論文集, 139.

Table 1 FIT-Choice 尺度下位因子と教職希望度・教職非希望度との相関

	1 教職希望度			2 教職非希望度		
	A	B	C	A	B	C
Ability ($\alpha=.808$)	.440 ***	.240	.496 **	-.010	-.007	.047
Intrinsic career value ($\alpha=.694$)	.502 ***	.238	.304	.028	-.227	-.035
Fallback career★ ($\alpha=.668$)	-.184	-.072	.059	-.097	.103	.147
Job security ($\alpha=.635$)	.137	.018	.370 *	.074	.037	.174
Time for family ($\alpha=.724$)	.045	-.041	.020	-.202	.203	.060
B 尺度						
Job transferability★ ($\alpha=.551$)	.062	.065	.153	-.039	.063	.169
Shape future of children ($\alpha=.757$)	.168	.228	.268	-.024	-.096	-.013
Enhance social equity ($\alpha=.537$)	.127	-.017	.433 **	.016	.159	.082
Make social contribution ($\alpha=.813$)	.175	-.058	.417 **	.002	.057	.112
Work with children ($\alpha=.889$)	.177	-.043	.318 *	-.168	-.140	-.174
Prior teaching learning experiences ($\alpha=.805$)	.281 *	.051	.366 *	.038	-.011	.136
Social influences ($\alpha=.761$)	.230	.086	.125	.072	.110	.139
C 尺度						
High demand ($\alpha=.696$)	.187	-.122	.159	.140	-.240	.285
Expert career ($\alpha=.900$)	.119	.010	.167	.143	-.157	.285
Social status ($\alpha=.784$)	.293 *	-.126	.197	.247	.088	.181
Salary ($\alpha=.828$)	.060	-.057	.194	.069	-.032	.235
D 尺度						
Social dissuasion ($\alpha=.796$)	.026	-.003	-.064	.190	.134	.314 *
Satisfaction with choice ($\alpha=.855$)	.501 ***	.422 **	.610 ***	-.056	-.392 **	.180

*** $p < .001$, ** $p < .01$, * $p < .05$